

緑が丘

学校教育目標
自ら考え
正しい行動のできる
心豊かな生徒の育成

緑が丘中学校
学校通信 NO.10
令和5年2月1日発行

「自分にしかない良さに自信を持ち、自分を好きになる」

1月24日(火)から25日(水)にかけて10年に一度という大寒波が襲来し、日本列島が震えあがりました。新聞やテレビでは早くから大雪や暴風雪に厳重に警戒するよう繰り返し警鐘が鳴らされました。普段雪の降らない三木市でも街は雪化粧し、いつもと違う美しい景色が広がっていました、幸い近隣では大きな被害がなかったようですが、通行止めや公共交通機関の運休などの交通障害、屋根からの落雪やなだれなど被害の様子を知らせる報道から自然の力の大きさを改めて感じさせられました。



雪化粧した校舎

さて、10日には私立高校の入試、15日には公立高校の推薦入試を控えています。3年生はいよいよ入試本番の時期を迎えます。冬休みはこれまでの人生で一番勉強した…そんな人も多かったのではないのでしょうか。2学期から続く朝の自主学習には、当初参加者が少なかったのですが、ずいぶん参加者が増えてきました。推薦入試の受験者は、面接調査票の記入など初めてのことに四苦八苦しているようです。初めて迎える進路選択。大きなプレッシャーを感じていることでしょう。受験は自分の力で壁を乗り越えていかなければなりません。でも一人ではありません。受験は団体戦とよく言われます。ひとりで悩み、頑張りすぎはいけません。困ったときには相談してみんなで壁を乗り越えていきましょう。

以前、高校受験を控える中学3年生の生徒に面接練習をした時のことです。「あなたの短所は何ですか?」と聞くと「気が短い」「飽きっぽい」など次々と答えがでてきます。ところが「あなたの長所は?」と聞くと答えに詰まってしまうのです。「どうして言えないの?」と問うと「そんなことを言ったらいいカッコをしていると思われる。」「自分よりすごい人は沢山いるから。」などという答えが返ってきました。確かに自分の良いところを言うのは照れ臭いものです。でも、聞いているのは、人と比べて優れているところ”ではなく“あなたが思う自分の良いところ”“自分の好きなどころ”はどこですかなのです。自分のことを良く言ってはいけません。この誤解は知らず知らずのうちに私たちの意識の中に染み込み、謙虚を意識しすぎるがために自分に自信を持てなくなってしまうのです。生徒を見ているとそれぞれが素晴らしい個性・良さを持っています。挑戦し、やり切り、達成感を味わう。結果は人と比べる必要はありません。1番になることだけが素晴らしいのではなく目標を持ちそれに向かって頑張ることが素晴らしいのです。そのことに気づいたとき自分を好きになれる。友達の良さを認めるのはもちろん、自分の良さについても自信を持って語れる生徒を育てたいと思います。



校長 西臺 士郎

1月にはこんなことがありました。



3学期始業式



生徒会認証式・退任式



三木市中学校新人駅伝



SCによる1年生ストレスマネジメント授業



美術部さんさんギャラリー作品展示



阪神・淡路大震災追悼 3年人権教育講演会

2月の行事予定表は、保護者専用ページに載せています。

☆卒業式のお知らせ☆

第47回 卒業式

- ・期日 令和5年3月16日(木)
- ・場所 緑が丘中学校体育館